

働く女性の学びと交流の場

にじいろ会

にじいろ会とは



にじいろ会での講座風景



にじいろ会の 発足まで

2013年当時

安倍政権が日本の成長戦略の一つとして
女性の活躍推進を掲げる

2013年12月、宇都宮卸商業団地協同組合の

組合企業メンバーであった

(株) アラマキ 荒牧菜苗より

女性の活躍推進に関する活動

(働く女性の学びと交流の場づくり) を提案

提案は組合の役員会ですぐに受理され

活動で使う予算(昼食等の交流費、講座開催
時の講師謝礼金など)が計上される

多くの組合員や組合事務局の協力により

参加希望者(社)が集まり

2014年6月に第一回を開催

安倍政権と「女性活躍」

12年 第2次安倍政権発足

13年 成長戦略に「女性の活用」を打ち出す

14年 内閣改造で女性閣僚が最大の5人に

15年 女性活躍推進法が成立

16年 国連の女子差別撤廃委員会が政府
に選択的夫婦別姓の導入など勧告



男女同権を目指す国連の「HeForShe」運動のレセプションでスピーチする安倍晋三首相

17年 保育所の待機児童数が過去最高
(2万6千人)

18年 候補者男女均等法が議員立法で成立

19年 女性の就業者数が3千万人を超える

20年 指導的地位における女性の割合を
2020年までに3割とする政府目標の
達成断念

男女格差の国別ランキング

(位) 90



女性活躍推進へ自主組織

宇都宮卸商業団地に交流会

政府が成長戦略で掲げる女性の活躍を県内の中小企業で進めよう

とちぎ経済スコープ

政府が成長戦略で掲げる女性の活躍を県内の中小企業で進めよう

トップの研修を行い、仕事へのモチベーションやキャリアアップを目指す。全国卸商業団地協同組合連合会によると、女性による自主組織の設立は加盟101団体で初めて。団地の活性化にもつながる取り組みとして注目を集めそうだ。(岡田優子)

6月、宇都宮卸商業団地協同組合(宇都宮市問屋町)に業種の垣根を越えた女性の交流会「にじいろ会」が発足。定期的に情報交換やスキルアップの研修を行い、仕事へのモチベーションやキャリアアップを目指す。全国卸商業団地協同組合連合会によると、女性による自主組織の設立は加盟101団体で初めて。団地の活性化にもつながる取り組みとして注目を集めそうだ。(岡田優子)

定期的に情報交換

スキルアップへ研修



積極的に情報交換を始めた働く女性たち＝8月下旬、宇都宮市内

う。政府が指導的地位の女性比率を2020年に30%にする「2030(二一)まるさんまる」を目標に掲げたのを機に、全社に交流会参加を呼び掛けた。荒牧さんの背中を押したのは、目標とほど遠い現状だ。下野新聞社が今春、県

内主要企業を対象に行なったアンケートによると、管理職の女性比率は4・5%と、しかも中小企業になっているのだから、女性の意欲を測りかねている心境を打ち明ける。まず意欲高めて

地に勤務する女性がいなくて、女性管理職をいかに増やすか。そのためにはまず一般職の女性の意欲を高める必要がある「と力を込める。同会は月一回、働きやすい職場環境づくりに向け、各社の育児や介護休暇、福利厚生について情報交換するほか、外部講師を招いた産、育児を機に離職する人のスキルアップを図る考へて、女性側も会社の求める人材について考えるきっかけにしてほしい」と話す。同組合の羽石光臣理事長は「女性の活躍は企業の活性化、団地の活性化につながる。組合としても後押ししていきたい」と期待を寄せた。

企業活性化に期待の声も

「普段、外部で企画提案する機会が少ないので、この24人が集まり、ランチを共にしながら意見交換した。同じ団地でも他社について知らないことは多く、刺激になる」との声が相次いだ。会を立ち上げたのは、機

械工員販売アラマキの常務取締役荒牧菜苗さん(34)。学生時代から、第一線で活躍する女性が増えたといいと考えていたとい

性的役割分業意識を打破したい気持ち

根強い「職場は男性優位優遇」意識

学生までは男女平等

実社会はどうだろう？

モやっている仲間を見つけたい！

多様な人がうじゃうじゃいる社会が理想

組織のトップ・役職者は男性が多い現実

もっと多様な人がいてほしいと願う日々...

性別関係ない対等性、多様性を広めたい！

→考えてるだけじゃなにも変わらない

前向きな行動を何かしよう！というとき

安倍総理の記者会見を目にして

働く女性の集まる場づくりを思い立つ

にじいろ会への想い
(発起人として)

にじいろ会

目的

働く女性の背中を押すきっかけ作り
仲間とのつながり作り

目標

仕事のスキルアップ
モチベーションアップ
人脈作り

工夫した点

参加者が偏らないよう、新メンバーも
入りやすいように交流会の座席を配置
会のたびに座席表の配布、自己紹介の時間設定
講座は仕事に役立つ様々なテーマを軸に開催
団地組合に所属する企業経営者に
にじいろ会の活動を報告宣伝



「にじいろ会」の効果

- ・ 社外で得られる気づきと刺激
 - 仕事への活力になるという声
- ・ 女性の活躍推進チームが発足した会社もあり
 - そのチームの課題解決のために、にじいろ会メンバーにアンケートをとったり、意見交換をしたりと、互いの相乗効果へ
- ・ 組合内での人的ネットワークの広がり
 - 近所にいる友人、相談仲間が増えた
 - 社外の友人からアドバイスや経験談を得られる
 - といった声も数多くいただいております
- ・ 団地組合の新たな価値創造
 - 組合員同士の交流実現
- ・ 団地組合のイメージアップ
 - マスコミや他県の組合から「にじいろ会」への問い合わせ等も増加

これまでの開催内容

コミュニケーション講座（挨拶、傾聴、認める、勇気づけ）

伝わる伝え方+提案力講座

ワークライフバランス講座

セルフマネジメント講座（自己基盤力）

自分の本質を発揮する人間力アップ講座

産休育休を良いターニングポイントにするためには講座

仕事に役立つ自己肯定感講座

仕事に役立つ話し方講座

仕事に役立つ片づけセミナー

金融商品リテラシー講座

しもつけ新聞活用講座

お茶の歴史、美味しいお茶のいれ方講座

他社で働く女性社員の講話

メンバーの会社訪問

会社見学（オフィスレイアウト）

事例発表（社内研修の企画立案実行について）

意見交換会

- ・男女における結婚観のミスマッチについて
- ・30-40代総合職女性の昇格昇進意欲の変容プロセスについて
- ・コロナ禍での変化について（各社の取り組み事例など）

暑気払い、忘年会、新年会、送別会

合計68回開催 (20.10.31現在)

～講座や意見交換の翌月は、毎回その内容の振り返りをするなど

受講だけでなく、メンバー同士で復習したり、気づきの共有する時間も大切にしています～

にじいろ会の 今後について

これまで様々な方の協力をいただき
開催し続けることができました

まわりの皆様に感謝しかありません

これからも
宇都宮卸商業団地協同組合に
なくてはならない集まりとして

そして
参加者・企業・組合・地域
皆様から喜ばれ
学びある温かいコミュニティを目指して
活動を続けてまいります

にじいろ会は見学も大歓迎で開催してます
お問合せは組合事務局（028-656-2323）
までご一報ください

女生き活き地域活動表彰・活動報



授
賞者



報告の様子

- 【男女生き活き地域活動表彰 優秀賞受賞事例】
- ・腹話術（寺内 政子さん）
 - ・働く女性の学びと交流の場づくり（にじいろ会）
 - ・産前・産後の母親支援（マドレ栃木OG会）

づかなかった意識に気づくことができた」との感想がありました。